

# 駅まち再構築の要点

- 機能・空間・運営 -

日本大学理工学部土木工学科

(一財) 計量計画研究所

(公財) 都市づくりパブリックデザインセンター

特任教授

代表理事

理事長

岸井 隆幸

# 鉄道駅

鉄道施設+駅ビル

コンコース・自由通路  
協定広場・公開空地

駅前広場

道路・公園・公開空地

# まち

環境空間

# 2次交通

動線

# 市街地整備 2.0

## 市街地整備の進め方

1.0 = 「空間」「機能」確保のための開発

行政中心・公共空間確保・宅地整形化・建物不燃共同化・大規模に・開発

(駅前広場を都決し、その整備を中心に、区画整理・再開発を展開)



2.0 = 「価値」「持続性」を高める複合的更新

公民連携・ビジョン共有・組み合わせ・エリアの価値・持続可能性・更新

# 市街地整備1.0 の連携

## 鉄道駅

鉄道施設+駅ビル

コンコース・自由通路  
協定広場・公開空地

駅前広場整備  
+  
市街地整備

道路・公園・公開空地

## まち

環境空間

駅前広場

## 2次交通

流動空間

# A：大都市

三大都市圏+札・仙・広・福

# B：地方都市

大  
↑  
利用者密度  
↓  
小

**A-1** (大都市拠点駅)

S+JR+私鉄+M + a

**M** (地下鉄駅)

**A-2** (大都市郊外駅)

JR or 私鉄 + a

駅広計画指針 1998

**B-1** (地方中心駅)

S+JR + a

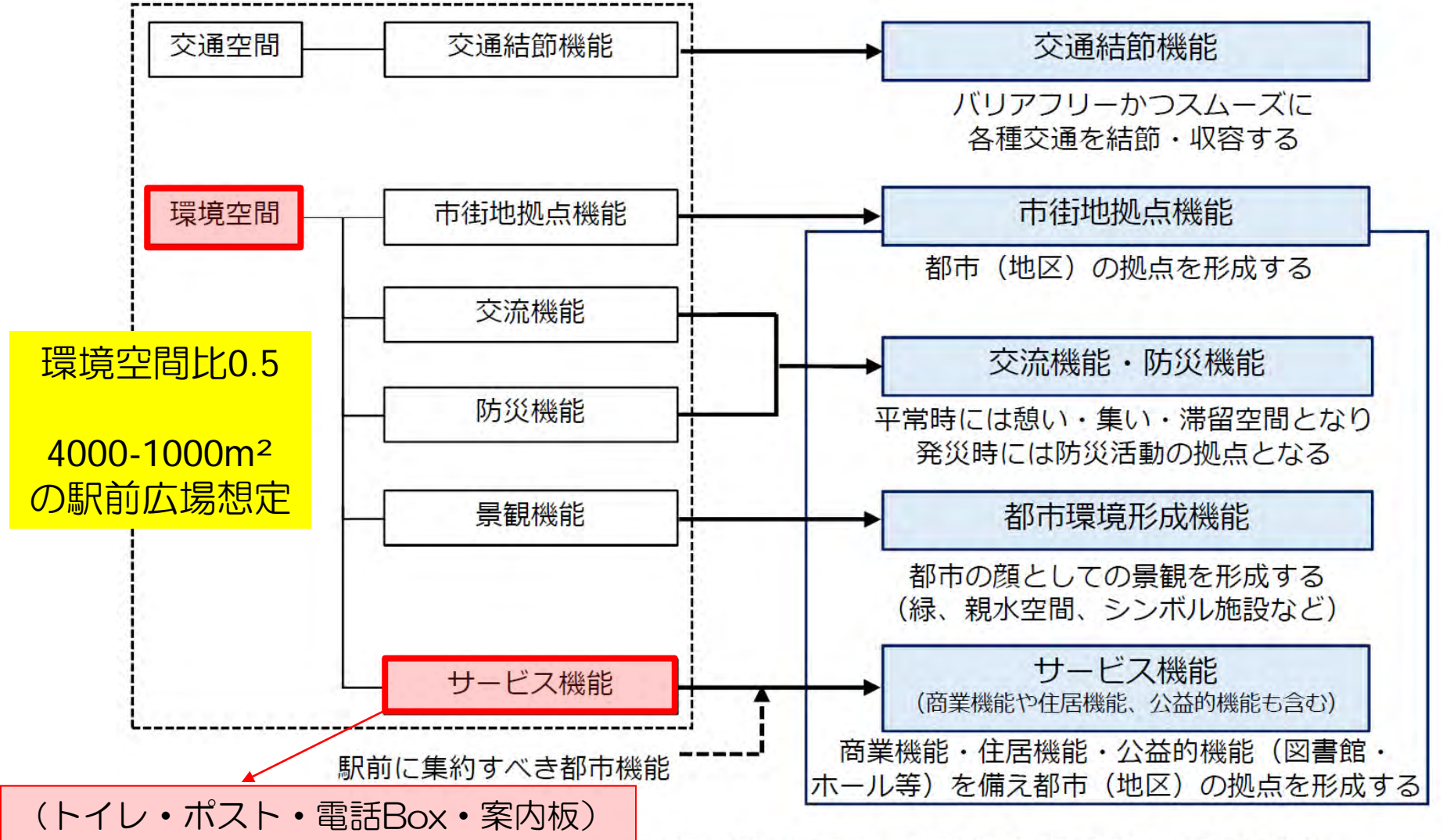
(**S** (新幹線駅) + a)

**B-2** (地方駅)

JR + a

# 駅前広場からのアナロジー：空間・機能の確保

駅前広場の機能（駅前広場計画指針※）



※駅前広場計画指針：建設省都市局都市交通調査室監修  
社団法人日本交通計画協会編集 平成10年

## 市街地整備 1.0

駅前広場を都決し、区画整理・再開発を展開



駅前広場計画指針：中規模程度の駅を意識

ただし、環境空間の具体的なデザイン展開は示していない

---

## 市街地整備 2.0

Vision・Management の考え方を共有し



公民連携の戦略的な取り組みを行う

駅まちの「機能・空間・運営」協調戦略に関する指針

市街地整備2.0  
の連携

Function  
+  
Design  
+  
Management

鉄道駅

鉄道施設+駅ビル

コンコース・自由通路  
協定広場・公開空地

PS WEB

Action

駅前広場

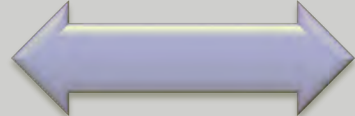
VISION

道路・公園・公開空地

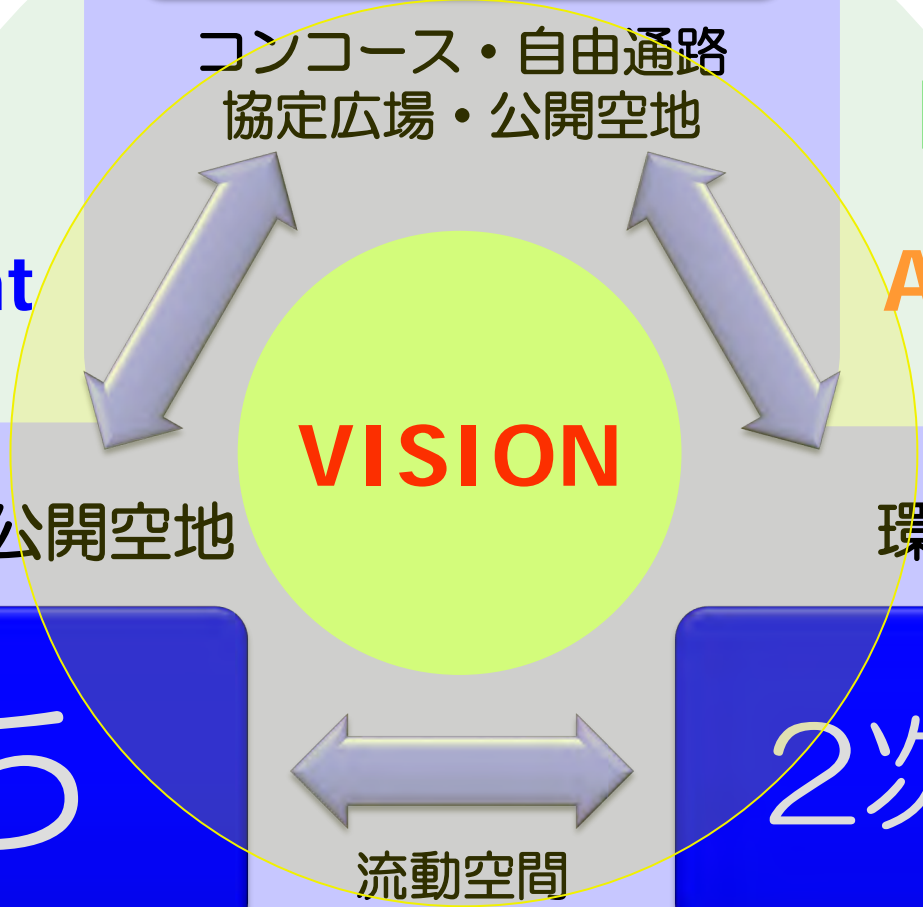
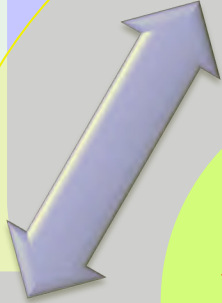
環境空間

まち

2次交通



流動空間





公民連携・ビジョン共有・組み合わせ

機能 ⇒ 駅まち再構築ビジョン の共有

空間 ⇒ PS WEB・Active Hub の実現

エリアの価値・持続可能性・更新

運営 ⇒ マネジメントPLAN・実践 の共有

持続的協調 ⇒ 組織と持続可能な仕組みづくり

# < 「駅まちデザインの手引き」の視点 >

**現状理解**：多様な機能を、幅広く現状分析する

**位置づけ**：都市再生・立適等と「駅まち」地区

**プロセス**：計画から運営まで多様な主体の参画

**方向性**：「機能・空間・運営」の共有を促進する枠組み

**機能**：地域課題の共通認識と誘導すべき機能の合意

**空間**：設計担当者が早い段階で協調する仕組み

**運営**：実験的アクションと持続可能な仕組みづくり

**持続性**：組織の在り方・人材育成・広域連携

# ＜同時に展開すべき施策＞

## • Public Spaceの増殖 WEB化の仕組み

### Public Space の計画的確保と一体的運用

適切な場所・管理が行われる PS の WEB構築

容積率算定基準との連動

容積率緩和措置との連動

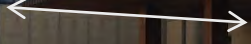
公的誘導施設の積極的導入

立体的都市施設の積極的活用

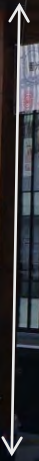
PS WEB を持続的に運営・管理する仕組み

# 長野駅





14m



17m

信州長野酒場  
郷土料理

長野都市カス  
20℃

信州長野酒場  
地酒

長野県  
心44度地酒  
PS Budget  
長野フォレストホテル  
長野県 長野県庁  
長野県 長野県庁

日本一の門前  
善光寺御開帳 2015  
2015年3月12日(日)  
善光寺御開帳 2015  
善光寺御開帳 2015  
善光寺御開帳 2015  
善光寺御開帳 2015





# <同時に展開すべき施策>

## • 協調したAction を起こすための仕組み

### 場（Active Hub）の設え

駅前広場環境空間の一時利用の仕組みづくり

駅・まちなかでの確保に対する支援

多目的広場の位置づけ・リノベーション

### Action を誘導する仕組み

実験的 Action の組成・運用に対する支援

持続できる運営主体組成のための仕組み







# <同時に展開すべき施策>

## • 鉄道+2次交通+まち サービスの一体化

駅まち情報システム（サイン計画等）の導入

一体的なサービス提供主体の組成

**Active Hub**（駅広環境空間等）の運営・管理  
駐車・駐輪・シェアサービスの運営・管理

**MaaS** 的考え方の導入と仕組みづくり

交通情報の一体的提供

交通料金体系の仕組みづくり

交通・まちサービスの一体的提供



# <次にあるいは同時に解決すべき課題>

## • 駅前広場計画指針の充実 計画指針2.0

環境空間の具体的設計指針

多様な駅まち（地下鉄など）への対応

**ICT**・新しい交通手段への対応

**UD**・駅まちサイン・管理手法などの取り扱い

**鉄道**・まちとの連携の仕組み強化

駅広の重層利用の考え方

まち・鉄道空間とのシェア

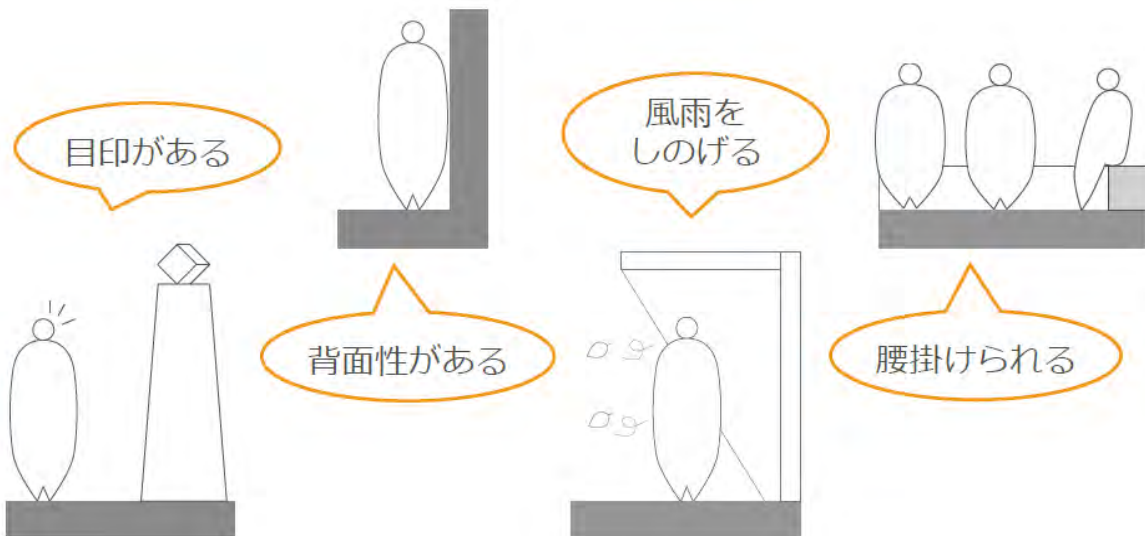
**PS WEB**・**Action Hub** の概念

# 待ち合わせ空間

1.3 m<sup>2</sup>/人

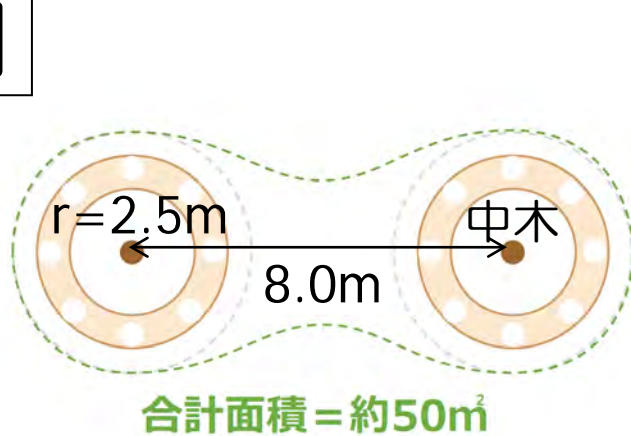


1人当たりの空間を確保

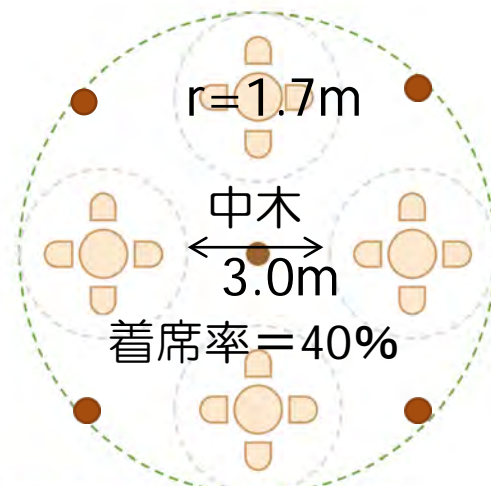


# 憩い・潤い空間

4 - 12m<sup>2</sup>/人



短時間利用を想定した空間



長時間利用を想定した空間


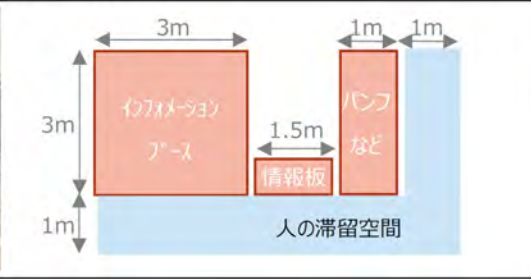

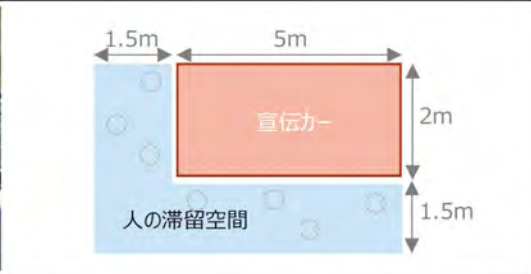

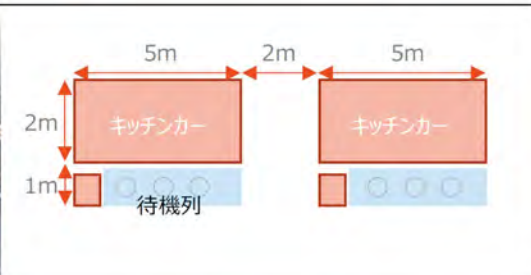

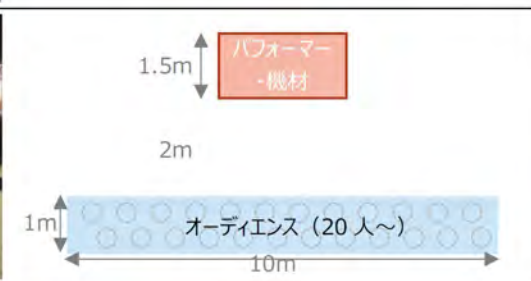

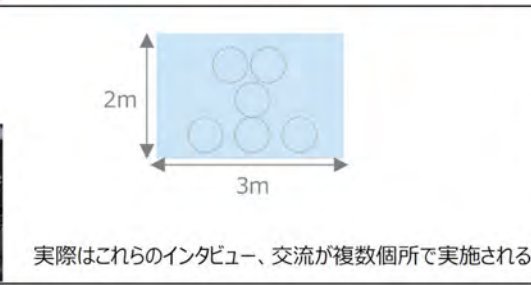
# 交流・賑わい空間

(例)

キッチンカー 35㎡～

路上ライブ 50㎡～

路上マーケット 20㎡/店～  
(4m×3m+通路4m)

	種類・イメージ	面積
		約 30 ㎡～
		約 35 ㎡～
		約 40 ㎡～ (2 台の場合)
		約 50～100 ㎡
		約 100 ㎡～ (複数個所で 実際される場合の 面積)

実際はこれらのインタビュー、交流が複数個所で実施される

# 大都市の拠点駅

立体的な空間構成の制度的裏付け

# 地下鉄駅

アトリウム空間の位置づけ

地下街の取り扱い

# 地方都市

多目的広場のリノベーション

現代版民衆駅の仕組み

# 心地よく使いこなせる 駅まち空間へ

交通 誰でも快適に移動、スムーズに乗り換えられる  
簡単に、楽しく、待ち合わせができる

交流 日陰や座るところがあり、居心地よく休める  
気軽に飲食しながら、楽しく語らえる

効率よく打ち合わせ・仕事・情報提供ができる  
新しいものや人に出会える刺激がある

サービス 誰でも簡単に目的地に行けて、自由に利用できる  
まちの多様性・賑わいエネルギーを享受できる

防災 何かの時に安全に逃げ込める  
緊急事態でも安心できる

環境 緑や水が豊かで心地よい穏やかな風景が見える